

『発電工学(改訂版)』正誤表 1, 2刷

2020年7月15日

	誤	正
P. 304 14行目	確定的影響と確定的影響	確定的影響と確率的影響
P. 307 10行目	事故後4年	事故後9年
P. 307 11行目	2万人の住民	4万8千人の住民
P. 318 7行目	・・・2011年3月の東電福島第一原子力発電所事故で破損した4基を含めた7基のBWR形発電所など、福島事故を契機に運転停止する多数の原子力原子力発電所には、将来再稼働よりは廃炉の運命が待っている。	・・・2011年3月の福島事故を契機に、多数の老朽原子力発電所が再稼働せずに廃炉になった。またシビアアクシデント事故を起こした東電福島第一原子力発電所事故4基は長年月を要する困難な解体廃炉作業を開始した。